

一般質問通告一覧表

令和4年9月

【一般質問】9月7日(水)、8日(木) 各日午前9時～

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
1	位田まさ子 いなべ未来 (240分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1.子育て支援の取組「子ども(地域)食堂」について</p> <p>(1)子ども(地域)食堂の活動をどのように認識しているか。</p> <p>(2)「子どもの見守り強化アクションプラン」の中では、民間団体等が子ども食堂を通して、子どもや家庭の状況把握、食事の提供、学習・生活指導・支援等を行う場合、市町村に対し補助金が交付される。この他にも、「地域子供の未来応援交付金」の支援策を拡充するなどがある。いなべ市が実施主体となり、活動を支援する考えは。</p> <p>(3)コロナ禍において、全国的にも子ども(地域)食堂の役割(ニーズ)は大きくなっている。社会福祉協議会だけでなく、関係部署、実施する各団体がネットワークを持って取り組めるよう先導する考えは。</p> <p>2.災害時に対応できる防災対策について</p> <p>(1)災害予想、発生時における命を守るための情報伝達方法は。</p> <p>(2)コロナ禍においての多様な避難方法が考えられるが、車中泊避難者や市外への避難者に対する情報伝達方法は。</p>
2	原田 敬司 いなべ未来 (240分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1.広聴・市民要望について</p> <p>(1)意見箱やホームページでの問い合わせフォームが設置されたが、その後の利用件数は</p> <p>(2)上記への返信が必要と考えるが見解は</p> <p>(3)自治会要望書をインターネットで提出する方法があるが、利用状況はどうか</p> <p>(4)自治会要望について、実施の可否、理由等の返信が必要と考えるが実態と見解はどうか</p> <p>(5)提出された自治会要望書を、市民が情報を共有する目的で、個人情報隠した上で公開すべきであるとする考えは</p> <p>2.小中学校について</p> <p>(1)運動部活動の地域移行について</p> <p>①地域移行に向けて教師の意向は確認しているのか</p> <p>②体育協会やスポーツクラブと協議を始めているのか</p> <p>③いなべには対応できるスポーツクラブなどが十分あるのか</p> <p>④一人の教師が顧問として休日を問わず部活の指導をすることは、生徒との一生の絆創りにつながると考えるがどうか</p> <p>⑤運動部活動の顧問になりたいと教師になった(なる)人もいると思うが、その人が指導できる可能性はあるのか</p> <p>⑥スケジュールを考えると令和5年度には何らかの事業を予算化しないと間に合わないとする考えは</p> <p>(2)学校の豪雨時の備え・対応について</p> <p>①豪雨時に学校のグラウンドの土砂や雨が近隣住宅地に流れ出す事態が発生しているが、その対応と点検・対策状況はどうか</p> <p>②下校時に豪雨が発生した場合の対処方法を生徒に指導しているのか</p> <p>③線状降水帯発生予想時には学校内で何らかの特別な対応をしているのか</p> <p>④豪雨により下校を遅らせた場合、見守り隊など関係者に連絡しているか</p> <p>3.高等教育機会の提供について</p> <p>(1)市内出身者で高校に進学した生徒の内、市外の高校に進学した人の過去5年間の人数・割合の推移は</p> <p>(2)いなべ総合学園高等学校へ進学した市内出身者の過去5年間の人数・定員に対する割合の推移は</p> <p>(3)人口流出を防ぎ、若者の人口増加を図るために、市内に大学の学科や専門学校を誘致してはどうかとする考えは</p>

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
3	伊藤 三保 いなべ未来 (240分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1. 誰ひとり取り残さないいなべ市へ</p> <p>(1)「ヤングケアラー」施策について</p> <p>①令和4年度の施政方針で、本市でも取り組むと打ち出されたが、実態調査の実施はどのようになっているか。</p> <p>②社会的な認知度をあげるための啓発は、どのように取り組むのか。</p> <p>③職員や関係者に対する研修は。</p> <p>④ヤングケアラー・コーディネーターの設置は。</p> <p>⑤「ヤングケアラー」に対して、具体的に、市としてどのような支援ができるのか。</p> <p>(2)女性デジタル人材育成について、 コロナ禍における女性の就労支援、人生100年時代を迎える中で女性が経済的に自立できるように、そしてデジタル分野における男女間の偏りの解消のため、本市でも女性のデジタル人材を育成するべきと考える。本市の支援の必要性に対する考えは。</p> <p>2. 空き家の利活用について</p> <p>(1)いなべ市総合計画第1期基本計画、計画終了年度に中間検証を実施し、計画の進行管理を実施する、とあります。その後の空き家の実態はどのようになっているか。</p> <p>(2)空き家は個人の財産であり、その管理は所有者が一義的な責任を有しているので、除却を含めた制度のPR、助言、相談を、所有者に提供していきたいと答弁されていますが、その後の実績、効果はどうか。</p> <p>(3)空き家バンク登録のハードルが高いとの声があるが、登録の条件、方法、手続きは、どのように行うのか。</p> <p>(4)空き家バンクに登録することに期待が持てないという声があるが、市民のニーズをどのように把握し、取り組んでいるか。</p> <p>(5)「いなべ市空き家対策審議会」を設置するとあるがその成果は。</p> <p>(6)いなべ市に移住したいがなかなか家がない、との声を聞かすが、対策や移住相談の取り組みは。</p> <p>(7)所有者が家を手放す意思が固まった段階で、ガスなどのライフラインの契約を解除することが多いと思います。業者と連携することで、空き家になりそうな家を早期に発見し、持ち主とコンタクトを取ることができると考えるが、取り組む考えは。</p>
4	渡辺 一弘 いなべ未来 (240分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1. 移住促進と人口減少対策の取組について</p> <p>(1)人口減少について、三重県では庁内部局が現状・課題等を共有し、適切に役割分担しつつ、緊密に連携しながら総合的に対策を推進するため、「三重県人口減少対策推進本部」を令和4年の3月に設置し、人口減少対策に真剣に取り組む姿勢を見せているが、本市では今のところ明らかに転出が多いわけではなく自然減であるため、極端な人口減少には至っていないが、このまま何の対策もしなければ、生産労働人口が減り、市の財政を圧迫することが懸念され、市民サービスの担い手の不足も深刻となる。人口減少を少しでもくい止めるには、「移住促進」や「合計特殊出生率を上げる」などの施策が必要となるが本市としては、どの分野に重点的に力を入れ取り組むのか、また具体的な計画はあるのか</p> <p>(2)いなべ市地域おこし協力隊の募集概要に「人口減少や高齢化等の進行が著しい本市において、本市の地域資源を活用し、地域の活性化の支援、農林業の応援及び住民の生活支援などの地域おこし協力活動に意欲がある方を対象に、定住・移住や地域力の維持・強化を図るための活動を行っていただける“いなべ市地域おこし協力隊”の隊員を募集します。」とあるが、本市が考える「地域資源」とは、またその「地域資源」をどのように活用しているか</p>

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
4	渡辺 一弘 いなべ未来 (240分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>(3)内閣府は少子化社会対策大綱(令和2年5月29日閣議決定)で国民の希望が叶った場合の出生率のことを「希望出生率」と定義し、この希望出生率を「1.8」と掲げているが、本市での合計特殊出生率は「1.22」となっており、本市のホームページ記載の総合戦略では「1.46」とあるが、目標に届いていない原因と目標達成に向けた具体的な計画は。</p> <p>2. 子ども医療費と予防医学について</p> <p>(1)子ども医療費の「窓口負担無料」の拡大について 本市では、子ども医療費の「窓口負担無料」は未就学児までとなっているが、本市での「安心して子どもを産み、育てられる、いなべ市」を目指すためにも、「窓口負担無料」の対象者を中学生まで拡大すべきだと思うが行政の考えは</p> <p>(2)子ども医療費助成の対象拡大について 子ども医療費助成の対象年齢を拡大(高校生まで)している市町村の数は「通院 659 市区町村、入院 715 市区町村」あり、市区町村の医療費援助の対象年齢の上限は上昇傾向にあり、また通院・入院とも「22 歳年度末(大学卒業)」（北海道南富良野町）としているところもあるが、本市では「対象年齢を中学3年生」までとしており、子ども医療費の対象年齢拡大は、様々な市町村で行われており、子ども医療費の対象年齢拡大は本市の「子育て支援策」として、とても重要で有効と考えるが行政の見解は。</p> <p>(3)デジタル技術を活用した「健康ポイント」について 1人当たり医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、子ども医療費の「窓口負担無料の拡大」や子ども医療費助成の「対象年齢を拡大」をした場合の医療費の財政負担の問題よりも、むしろ成人後の年齢階級別に比例して増える医療費の増大を受けた財政負担が多く、「予防」にしっかりとした対策や費用をかけるべきだと思うが、施政方針でも表明されたデジタル技術を活用した「健康ポイント」事業の進捗は。</p> <p>3. 安心・安全な市道の整備について</p> <p>(1)市道や公園の「危険個所の発見」「安全確保」に取り組む上で、修繕が必要となっている道路の不具合等に関する「市民の通報手段」を拡充するため、専用のアプリケーションを利用し、スマートフォンなどから、撮影した写真や位置情報を添えて、不具合の状況を通報いただく、これからのデジタル化に向けてのシステム運用の必要性を考えるが、本市の見解は。</p> <p>(2)市道、農道に対して、今後の安全管理における計画はあるのか、あるならば何年計画で実施されるものであるか。</p>
5	小寺 徹翁 創風会 (135分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1. 河川敷の状況・対策を問う</p> <p>(1)市内の多くの河川敷において竹林や雑木が繁茂しており、川の形態をなしていない。この状況は、猿・鹿・イタチ・蛇などの隠れ家として最適な場所になっている。河川敷の整備をすることは、獣害対策の面からも有効であると思うがいかがか。</p> <p>(2)この件に関して、県への要望活動は今までどのようにされてきたのか。また、今後どのような要望活動を行っていく考えか。</p> <p>(3)市が管理する河川を含め、河川敷の整備の実績と令和4年度、5年度の計画は。</p> <p>(4)県に要望する優先順位及び市で実施する優先順位の基準は。</p> <p>2. 市内道路の整備について</p> <p>(1)樹木が覆いかぶさっている市内道路の安全確保、特に凍結対策等はどのように行っているか。</p>

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
5	小寺 徹翁 創風会 (135分) ※質問制限時間 は1人60分	(2)この件に関して、自治会要望書が多々提出されているが、過去5年間で何件あり、どれくらい対応できたか。 (3)令和3年第4回定例会での答弁にて「市道の樹木の張り出しについて、市内全域の主要道路で一斉点検を実施し、おおむね3年間かけて伐採を進めていく」旨の答弁があったが、進捗は。 (4)市道以外の樹木の張り出しについての対策は。
6	伊藤 智子 創風会 (135分) ※質問制限時間 は1人60分	1.文化・芸術施策の更なる推進について (1)令和4年度いなべ市総合計画・財政計画が7月に公表された。今まで文化・芸術の条例の制定を提案してきたが、答弁は総合計画の中で振興を図り、見直しの時期でもあるから促進事業が充実した内容になるよう検討すると言う事であった。どのように振興してきたのか。今後は。 (2)サークル等に入っていないなくても市民に広く楽しんでもらえる多世代が交流できる文化活動を検討すると言う事であった。どのように検討したのか。コロナ後はどのように展開していく予定か。 (3)国の文化・芸術振興基本法の前文には「文化芸術は、人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、人々の心の繋がりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであり、世界の平和に寄与するものである」とある。いなべ市では「元気みらい都市いなべ」の事業の3年間のまとめとしたコンセプトブックをこの3月に発行して「運動の習慣化」と「適正食習慣の大切さ」を説いた。しかしこの中には心の健康についての記載はない。元気とは心身が健康であると考える文化・芸術の振興と共に推進するのはいかがか。 (4)いなべ市では沢山のまちかど博物館に加え、最近ではギャラリーなどもいくつかできて若者のアーティストが多く見られるようになってきた。このことを応援するために、紹介し合う場を設けたり、子どもたちと交流の場を持ってもらうなど、市として出来ることはないか。 (5)市民の交流を生み、文化・芸術を楽しんでもらうために、何も持たずに出かけていき、花を生けたり、お茶を楽しんだり、子どもと趣味専用の図書館や、ダンス、歌、囲碁や将棋が誰とでも出来るスペースがある、自由に無料で出入りできる文化の館をつくり市民の憩いの場にしてもらうのはいかがか。 (6)コロナ前は市のイベントが沢山あり日程が重なったりしていた。コロナ後の事は推測しがたいが、市が、総合的に考え、新たな計画をたて、備えておくべきと考えるがいかがか。
7	清水 隆弘 創風会 (135分) ※質問制限時間 は1人60分	1.空き家対策を問う (1)空き家の現状について ①最新の空き家等の件数等の状況は。 ②平成20年度に創設された空き家・空地バンクについて、平成28年11月までに45件の登録、成約は賃貸が23件、売却は9件の実績だったが、その後の登録数の推移、問い合わせ件数、成立件数は。 (2)平成30年3月に策定されたいなべ市空家等対策計画について ①「平成32年度(第2次いなべ市総合計画第1期基本計画計画終了年度)に、本計画の中間検証を実施し、計画の進行管理を実施します。」とあるが、その内容は。 ②「計画期間が終了する平成37年度までに「空家等実態調査」を再度実施するとともに、計画期間や具体的な取組などの計画内容の見直し、本計画の改定を行います。」とあるが、空き家等実態調査はいつ行う予定か。

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
7	清水 隆弘 創風会 (135分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>(3)平成30年4月1日に施行されたいいなべ市空家等対策審議会条例について</p> <p>①審議会の開催実績とその内容は。</p> <p>②第3条第2項第4号に規定されている「市長が適当と認める者」とはどのような者を想定しているのか。</p> <p>(4)空き家等の予防対策について</p> <p>①実態把握の方法は。</p> <p>②予防対策としての施策は。</p> <p>③65歳以上の高齢者単身世帯のいわゆる「空き家予備軍」と言われる世帯数は把握しているか。</p> <p>④「空き家予備軍」に対するアプローチは。</p> <p>(5)空き家等の利活用について</p> <p>①空き家リノベーション支援事業はどうなったのか</p> <p>②現在進行中の案件はどういったものがあるか。</p> <p>(6)空き家等の調査について</p> <p>①相続人不存在や所有者不明の空き家はどの程度あるのか。</p> <p>②空家等対策の推進に関する特別措置法により、固定資産税の課税などのために保有する情報について、この法律の施行のために必要な限度において、市の内部で利用することができるようになっているが、固定資産税等課税所管との情報共有、連携は。</p> <p>③市内各部局から空き家所有者情報を集約してデータベース化してはどうか。</p> <p>④相続財産管理人制度の活用は。</p>
8	多湖 公 新風いなべ (60分)	<p>1. 生まれ育つすべての子どもの健やかな成長を願って</p> <p>(1)保育園育休退園制度とは。</p> <p>①なぜこのような制度が設けられているのか。</p> <p>②他市町によって制度内容が違うが、いなべ市が育休退園の期間を設定した理由は。</p> <p>③桑名市ではR4年4月から育休退園制度を撤廃した。全国的にもこの制度の撤廃を求める声が多いと聞くが、いなべ市で踏み切れない理由・課題は。</p> <p>(2)保育園の一時預かり制度とは。</p> <p>①保護者の病気、家族の看護や介護、冠婚葬祭などにおいて一時的に預かっていただける制度があるが、保育園により対象年齢が異なるのはなぜか。</p> <p>②この制度を活用すれば上記の育休退園制度の補完になると考えられるが、保護者にどのようにお知らせしているのか。</p> <p>③通っていた保育園になるべく一時預かりをしてもらいたいのニーズと考えられるが、優先していきけるのか。</p> <p>(3)妊娠中の相談体制について、専門の保健師、栄養士のスタッフは現在何人で、充足しているか。</p> <p>(4)直接的な経済支援政策について</p> <p>①現在、いなべ市の様々な経済的な子育て支援において、近隣他市町と比較して特徴的な支援はなにか。</p> <p>②給食費未納者への集金で大安中学校は市の職員が訪問しているが、他の中学校は教職員が訪問している。違いはなぜか。</p> <p>③給食費の会計を公会計にしないのはなぜか。</p>

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
9	岡 恒和 日本共産党 いなべ市議団 (90分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1. 水素ステーション整備事業を問う</p> <p>(1)水素ステーション事業に関して ①太陽光発電の出力はどれだけか。 ②年間水素発生量はどれだけか。 ③燃料電池車の購入ができなくなった経緯と対応は。</p> <p>(2)今後の事業計画、予定について 市が示した資料「グリーン水素ステーション設置と利用計画(概略)」では、発生した水素は、ア 燃料電池車 イ 設置型燃料電池による発電 ウ 給食配送車や福祉バス、公用車での活用となっている。</p> <p>①設置型燃料電池の事業計画及び事業額は。 ②給食配送車等の料電池車化はいつまでに行うのか、またその費用は。</p> <p>2. (株)パシュートと市の契約について</p> <p>(1)第1回定例会で担当部長は、(株)パシュートのキャンプ場許可に関して、①売り上げの50%以内での市への寄付を条件②今後条例改正し指定管理基金として受け入れる③キャンプ場開設前に協定を結び貸与していると答弁した。①②③は追認できるか。 (2)第2回定例会では、契約は令和4年4月1日と答弁し開設前には口頭の了解があった。口頭での契約も有効とされたが、間違いはないか。 (3)(株)パシュートが活用するトレーラーハウスに関し、市の所有台数は。 (4)貸借は、農業公園指定管理者との契約とされたが、なぜ市が直接契約しないのか (5)第2回定例会で(4)の件に関し、(株)パシュートが得た利益に対する対応を求めたが市長は違う事業でも協力してもらっているので理解してほしいと答弁した。市に対する協力には、見返りがあるということか。</p>
10	衣笠 民子 日本共産党 いなべ市議団 (90分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1. 新型コロナウイルス感染からいのちとくらしを守る</p> <p>(1)保育園については、公立、社協立すべての保育園でPCR検査を申し込んだとのことだったが、どのように実施をされたのか。 (2)保育園で実施した成果をどう評価しているか。 (3)3月定例会代表質問時点で、学校については、希望校を募った結果1校十社小学校が実施予定。放課後児童クラブについては、5クラブが実施予定とのことだった。小学校、放課後児童クラブでの実施はどのようになったのか。</p> <p>2. 子どもの育ち応援、子育て応援を</p> <p>(1)学校給食費無料化 ①市長は給食費の無料化について、令和4年3月定例会で「市長の考えとして新たな財源があれば」と答弁し、令和4年6月定例会で「財源を下水道料金34%の値上げで小中学校の給食費分、阿下喜温泉、農業公園の指定管理料の減額で保育園の給食費分」と答弁し給食費を全小中学校児童生徒分、全3歳以上園児分無料にする考えを示した。 これまで、所得にかかわらずすべての児童生徒に給食費の無料を実施すべきでないとの市長の考えはどのように変わったのか。 ②国や県も学校給食費の無料化については、奨励していない。負担区分についても学校給食法第160号第11条第2項に保護者負担すべきものとして規定されている。学校給食法施行令政令第220号第2条に学校設置者が負担すべき経費に給食食材費が含まれていないということで、小中学校給食費の無料化はしないとしてきたが、解釈が変わったのか。</p>

次ページへ続く

<p>10</p>	<p>衣笠 民子 日本共産党 いなべ市議団 (90分) ※質問制限時間 は1人60分</p>	<p>③保育園給食費の無料化について、令和3年6月、9月定例会で「給食費の無料化の予定はない。給食費の無料化をしない理由として、保育園の給食の材料にかかる費用については自宅で子育ての場合も同様にかかる費用。保育園を利用する保護者も、自ら自宅で子育てを行う保護者と同様にその費用を負担することが原則となるので、保育の無償化後も引き続き保護者負担としている。保育の無償化に関する国の考え方として、給食費、行事費は無償化対象外としており、いなべ市もこれに従っている」ということがどのような解釈で「財源さえあれば実施可能」の判断になったのか。</p> <p>(2)子どもの医療費無料の拡大</p> <p>①窓口無料、所得制限の撤廃が求められ、取り上げてきた。できない、しないとの考えに変化はないのか。</p> <p>②対象年齢を高等学校卒業に引き上げたとなると推定でどれだけの予算がいるか。対象年齢拡大の考えは。</p> <p>3. 公共施設の管理</p> <p>(1)いなべ市公共施設等総合管理計画</p> <p>①平成28(2016)年3月「いなべ市公共施設等総合管理計画」の改訂版が令和4(2022)年3月に発刊された。10年ごとの見直しとされているが、10年経たないこの時期に改訂版がつくられた。これまでも改定は3回行われているが、今回改訂版がつくられた理由、変わった点は。</p> <p>②フォローアップの実施方針としてPDCAサイクルの考え方にもとづき実施していく(P23)と今回もなっているが、記載されている公共施設に関して個別計画、長寿命化計画は立てる予定か。</p> <p>(2)大安庁舎、児童館 大安庁舎、児童館は閉鎖されている。閉鎖前から雨漏りもあったが、管理はどのようにしているか。</p> <p>(3)郷土資料館 「郷土資料館は収納機能を旧中里小学校へ、展示機能は旧中里小学校、藤原文化センターへの移転が検討されている」と記載されている。また、現在の郷土資料館の建家の使用は消防署から止めるようにとあり移転が進み出した経過からもさらに使用することは難しい。解体するのか。</p> <p>(4)図書館 いなべ市公共施設等総合管理計画平成28(2016)年3月版に図書館に関しては「『いなべ市公共施設統廃合に関する答申』(平成21年9月)の考え方に基づき、収蔵を目的とする図書館を合併時の4館から1館に集約していきます」とあったものが、今回の改訂版で「図書館は、市民からの要望に合わせながら集約していきます」となった。市民の要望聴取はどのように行う予定か。</p>
-----------	--	--

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
11	篠原 史紀 (45分)	<p>1. 障がいのある方とその保護者が安心・安堵して暮らせるまちに (1)障がい者グループホームの充実に関して市のビジョンを問う。 ①市内の障がいのある方の保護者からグループホーム拡充を望む声を多々聴く。市は、今まで、現状やニーズの把握（公聴）をどのように行い、市民ニーズや現状をどのように把握しているか。 ②今年度の施政方針で、さらに障がい者グループホーム拡充の方針が示されたが進捗は。 ③グループホームの設置目標数はあるか。 ④我が子の将来への不安を大いに抱える高齢保護者を中心に、自分たちでグループホームを作ることを検討し始めている方々もいる。民間主導で新たなグループホームをつくる場合、行政ができる具体的な支援は。 (2)合理的配慮を促進し、障がいのある方への理解強化を。 ①障がい者福祉計画策定の際に実施した当事者へのアンケートでは、障がい者への理解を望む声が大変大きい。市は、障がいのある方への理解促進を図るにあたり、今日まで何が一番の課題であり、その課題を解決できると考えているか。 ②平成28年4月1日の障がい者差別解消法が施行された以降、市が実施した合理的配慮強化への具体的な取り組みは。 ③障がいのある方が手続など窓口サービスを受けるために、自宅からの移動などに、具体的にどのような配慮を実施しているか。 ④職員が合理的配慮への認識を共有するために研修やケースワーク会議等の実施状況は。 ⑤合理的配慮促進対象者については、企業・飲食店・支援団体等、事業者も含まれるが、市は事業者に合理的配慮を促進させるために、どのような事業及び啓発を行ってきたか。 ⑥本来、文部科学省の「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」で検討され続けているバリアのないインクルーシブ教育の構築が望ましいと考えるが、現実的にはなかなか難しいとも理解している。しかし、子どもの頃から障がいのある方への理解を促すことは大変大切なことである。現在小・中学校で行われている具体的な取り組みについて問う。</p> <p>2. みどりのオープンスペース構想について (1)構想の趣旨・目的及び具体的な事業化など今後の計画は。また、先ごろ行われた研修の目的や内容は。 (2)グリーンインフラ・ワークショップとの関係性は。 (3)この構想は、(一社)グリーンクリエイティブいなが行う新たなまちづくり事業の中で、どのように位置付けられているのか。</p>
12	西井真理子 (45分)	<p>1. 防災意識の向上について (1)避難行動要支援者名簿（登録者名簿）に登載されている方の情報は、全地域で保管されているか。 (2)これまでの一般質問で市民の防災意識を上げるため、情報誌リンクで特集を組むよう提案したがその後どうなったか。今後の考えは。 (3)9月は防災月間であるが、完成した防災拠点施設を開放するなど、市民の防災意識を高めるための事業は計画しているか。 (4)コロナ禍で自治会長会の開催頻度も減っている中、各自治会が防災の取組を継続するために働きかけていることは。</p> <p>3. サルによる被害を防ぐために (1)地域で追い払いを行ったり、被害を減らしたりするため、市民への啓発はどのように行っているか。 (2)令和3年度以降に講習、座談会などに出向いた実績とその後のフォローは。</p>